

122.8.23

テックス 環境分野に本格進出

新型暖房機開発に着手

電力使用監視に「エコワイズ」販売開始

(株)スズテック(栃木県宇都宮市平出工業団地44-3・☎028(664)1111・鈴木康夫社長)は昭和21年創業以来65周年を迎えるのを機に、環境関連分野への本格的進出を決定、18日、同社において「新事業説明会」を行った。説明会では「平成22年度とちぎ未来チャレンジファンド助成事業」の補助事業に認定された「過熱水蒸気式暖房機」の開発を中心に、(株)アンシブル(栃木県宇都宮市・志水清子社長)との連携によるPLC電力モニター「エコワイズ」の販売開始など、新しいチャレンジを展開する旨を発表した。

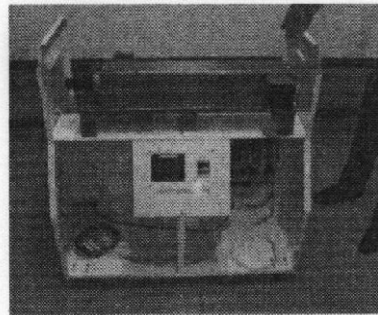


挨拶する鈴木社長

説明会には、鈴木社長はじめ倉持久男取締役総務部長、三島勲取締役営業部長、石川浩一技術部長、武田清資環境営業部長、渡辺製造部長、(株)アンシブル・志水社長が同席した。

冒頭、鈴木社長より「緊急機械リース支援事業や戸別所得補償制度、春先の天候不順など追い

風になり、前期は好決算で終えることができた。今期は温故知新をキーワードに掲げ、さらなるプラス成長を目指す」と前置きし「創業65周年を迎えるにあたり業務の拡大を図るべく4月より新たに環境営業部を創設、通



過熱水蒸気式暖房機の試作第1号機

の激しいもの

と比べ低コスト④適度な湿度で快適空間作りにも貢献。

同社では平成23年度からの発売を目指し、今後さらなる改良、実

に取り組むことで一層の経営の平準化・安定化を図っていくと挨拶した。

引き続き「過熱水蒸気式暖房機」および「エコワイズ」の説明が行われた。

【過熱水蒸気式暖房機】平成22年度とちぎ未来チャレンジファンド助成

に取得した特許①燃料はクリーンな電気と水のエコ製品②温室効果ガス抑制に貢献③重油など価格変動

農薬ハウスはもとより医療・介護施設、工場、ホテル、店舗、公共施設など多方面での活用が期待されている。

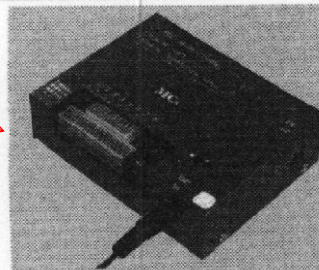
事業への補助を受け、ハウス農業での暖房費削減を目的に開発に着手した省エネ暖房機。水を100度に沸騰することで発生する水蒸気を、さらに加熱することで高温でドライな水蒸気を作り出し、同時に加熱される空気と混合された温風を送り出す、加湿と暖房が両立した製品。

証試験などを行っていくとしている。

【エコワイズ】一般の電気回線を通信回線として利用し、工場・事業所・店舗などの電力使用状況を監視できる「見える化」を実現する

製品。基本システムからの情報をパソコンや専用モニターリアルタイムに把握できる。

同社において導入したところ、時間帯による電



エコワイズ本体



エコワイズモニターで電力使用をチェック

「とちぎ」認定商品として、県内外から注目されている。

同社では今後、機械メーカー、小規模店舗などへ普及・拡販を図りたいとしている。

ことで年間600万円の電気料の削減を達成。このため、開発・製造を担当した(株)アンシブルと連携し、発売に至ったもの。

栃木県内で独自技術で開発された優れた商品に与えられる「レッツBuy」として、県内外から注目されている。

8chマルチカウンター

蛍光管 表示装置

エコワイズは、変電所内で電力会社の元メータ(取引用電力量計量器)のデータを計数し、PLC電送し遠方の表示装置へデータをリアルタイム表示します。

1分毎に電力使用量の増分を計算し、予測計算して、デマンド警報を電子メールで知らせ、最大電力回避のオペレーションを実行します。

この事例では2次側の主要な負荷4点をマルチで監視して、Webサーバーから詳細データを提供しています。